

みんなで埼玉 冬の交流学習会

兼 関ブロ交流集会

2月3日(土)

11時～16時30分

埼玉教育会館 301会議室

みなさん、いかがお過ごしですか。インフルエンザが猛威をふるっていましたが、みなさんの地域ではどうですか。「子どもは風の子」なんて、かつては言っていましたが、元気に冬を乗り切りたいものです。

さて「冬の交流学習会」の季節がやってきました。ご案内させていただき、みなさんの参加をお待ちしています。

今回は、制度研関東ブロック交流集会と合体した2部構成で企画しました。1部は「報告と交流」、2部は「学習講座」です。

みんなで埼玉に！！

「子どもの権利と学校の今とこれから」をテーマにした2部構成でおこないます。

■1部のテーマを「物価高騰下の学校のお金をめぐって」としました。関東ブロックの各地域制度研の方々による報告をもとに交流します。物価高騰で予算（公費私費）運営は、どうなっていますか。各地の状況をもちよりましょう。

■2部のテーマは、「子どもの最善の利益から見える学校のカタチをめぐって」です。山本由美さん（和光大）をお招きして、学校統廃合の背景やねらい、現段階における課題などをお話していただき、子ども権利の視点から「学校のこれから」を考える機会にします。みなさんの地域はどうなっていますか。各地の動向もちよりましょう。

ご案内

◇会場 埼玉教育会館 301会議室
さいたま市浦和区高砂 3-12-24
☎ 048-832-2551
※JR京浜東北線等 浦和駅より徒歩8分

◇参加申込締切 1月26日(土)

◇参加費 無料

◇参加申込 ◇会場参加、オンライン参加ともに、申込方法は制度研のホームページからとなります。

◇「制度研」で検索し、ホームページを開き、「冬の交流学習会」案内をあけて「参加受付フォーム」に記入していただき、送信してください。

◇後日、オンライン参加の方には入室の手続き等について連絡いたします。会場参加の方は会場でお待ちしています。ご不明な点は下記にお尋ねください。

◇問合せ先

植松携帯 090-9675-1067



みんなで埼玉「冬の交流学習会＋関ブロ交流集会」



一体いつまで続くのか、物価高の影響が家計に直撃しているのと同じように学校予算にも打撃を与え始めています。みんな、どのようにやりくりしているんだろう。

消費税が上がった時も、学校配当予算は増えず、公費も“火の車”状態。教材も値上がりし、このままでは学校徴収金にはねかえってしまう。修学旅行費、学校給食費などへの影響はどうでしょう。

これは学校経営上の大きな課題です。学校事務職員のやりくりに丸投げされてはたまらない。みな

さんの学校では、どんな話し合いがされていますか。管理職や教員の方々はどう思っていますか。

第1部では、物価高騰でひき起こされた足元の問題から見えてくるものを考えてみましょう。

【当日の進行予定】

- 会場受付 10:30～
※ Zoom入室 10:50
- 開会 11:00
- 第1部 11:00～13:00
物価高騰下の学校のお金をめぐって
 - ・ 関東ブロック各地域からの報告
- 昼食休憩 13:00～14:00 (昼食のご用意を)
- 第2部 14:00～16:20
子どもの最善の利益から見える学校
のカタチをめぐって
 - ・ 山本由美さんのお話し
「変えられる学校のカタチ～学校統廃合等から見えてくるもの～」(仮)
- 閉会 16:30

第2部では、全国各地でひろがっている学校統廃合をめぐる問題に目をむけます。お話をしていただく、山本由美さんは学校統廃合は新しい段階を迎えているとし、「全国で見られる現象ですが、特に東京都の市部で劇的に、公的施設の『複合化』『多機能化』などを伴いながら、教育論や『子どものため』の議論をかなぐり捨てたような施設建設が計画化されているのです。

…そして同時に、公教育の民営化が強力に推し進められています。」と述べられています。

来夏の研究大会開催地さいたま市には、全校児童生徒3600人、3つの離れた敷地からなる義務教育学校の開設計画があります。また学校施設「複合化」にPFIを使った京都市の小中一貫教育のモデル事業となった学校は、保育所、老人デイサービスセンター、在宅介護支援センター、商業施設などが入る複合施設のなかにあります。なぜこんなことができるのか？こんなことになるのか？

山本さんは「…教育的な課題はあっても、地域に学校施設を残すことは重要です。ただし、…子どもの生存や発達に直接かかわってくる公共施設の場合、目的にあった施設でありうるのか、という点の検証は決定的に重要になるでしょう。」と述べています。お話にじっくり耳をかたむけて、学校統廃合から見えてくる学校のカタチを考えてみましょう。

